

JFAU-12サッカーリーグ2019山梨県Q & A

本Q&Aに掲載する内容は、U12運営委員会に報告された事案について、U-12リーグの理念やあるべき姿を共有することが必要との考えから、再発防止も含め個別名称等を記載せずに公開するものです。

項目分類	Q	A	ガイドライン該当事項
運営 グループ順位決定	<p>■地域大会を優先し本リーグ戦を欠場(2019.04)</p> <p>■グループリーグ当日には先約(地域の大会)が有り参加が出来ません。</p> <p>本来なら4種の年間スケジュールを確認後に会場を確保するのですがそれ以前に地域大会の会場確保を行った為グループリーグを欠席させていただきます。</p> <p>判断につきましては、グループの判断に従います。</p> <p>■当該チーム欠席のため試合当日グループミーティングを行い全チームから意見をいただいた。</p> <p>これまでも問題提起されてきたことであり、グループの対応としては厳格に不戦扱いとしレギュレーションに沿って0-5とするという意見が大多数となりました。</p> <p>処分については淡々とするが、同じグループの仲間として今後も温かく接していくことも確認しました。</p> <p>また、当該チームが当日の審判割り当てに誠実に対応したことや今回の処分を当然理解し謝罪していることも付け加えます。</p> <p>■当グループの対応につきまして運営委員会の承認をお願いいたします。</p> <p>なお、0-5のスコアとしたことに関して、他のチームに影響があり順位や昇格等に影響がある場合は、再度グループで話し合い、当該チームの全試合結果を除外するなどして成績を決定する予定です。</p>	<p>報告された内容について理解いたしました。</p> <p>基本的には、グループの判断がリーグとしての意思という考えだと思います。同じ志、同じ思いを持って共に行動することが、リーグの本質だと考えます。</p> <p>今回のように時系列的なもので優先順位がある(早いもの順)のではないことは再認識する必要があると思います。</p> <p>U-12リーグは4種の公式戦であり参加している全てのチームにとって最優先の事業であります。</p>	<p>レギュレーション「グループ順位決定」</p> <p>グループリーグ実行委員会マニュアルグループ日程の組み方①公式戦</p>
以下は2018年度までのQ&A			
運営 グループ順位決定	<p>後期に開催のリーグ戦において開始時間にメンバーが揃わないチームがあり、試合を開始できなかった。</p> <p>当日、該当チームおよび審判との協議の上、試合開始を遅らせ試合を実施した。</p> <p>当日はグループ内で救済処置を検討したが、運営委員会の判断として公式記録は『0-5不戦敗』とした。</p>	<p>【リーグ実施ガイドライン・試合の実施】</p> <p>競技者の数：・試合開始の成立は、キックオフ時に8人がそろっていることが必要。</p> <p>ただし、試合中に欠員が生じた場合は、7名をもって成立する。6名以下となった場合にはその試合は不戦敗の扱いとする。</p> <p>関連して</p> <p>【グループ順位決定-2】</p> <p>予期せぬ事情によりグループリーグの試合が開催できない場合であって没収試合、不戦敗の取り扱いを行う際は、0-5のスコア取り扱いとする。</p> <p>■説明</p> <p>「予期せぬ事情」とは、①試合中に競技選手の数6人を下回った場合、②前期リーグ中に試合の消化が不可能となる要因が生じた場合、などグループ実行委員会において協議し、同意を得た試合について、原因チームと理由を明らかにしU-12リーグ運営委員会で承認を得た試合については、原因チームに対し0-5のスコアで処理すること。としています。</p>	
グループ運営	<p>リーグ戦マッチデーにも関わらず、地域の大会出場を理由に日程調整を申し出た場合はどう対応したらよいのでしょうか。</p>	<p>JFAU-12サッカーリーグは4種の公式戦として開催され、これに優先する地域大会はないことを理解したうえで実施されています。</p> <p>グループ日程に従ってリーグ戦に参加しなければなりません。</p> <p>他、予期せぬ事情によりグループの試合が出来ない場合没収試合、不戦敗の取り扱いを行う際は、0-5のスコア扱いとなります。</p> <p>「予期せぬ事情」とは、①試合中に競技選手の数6人を下回った場合、②前期リーグ中に試合の消化が不可能となる要因が生じた場合、などグループ実行委員会において協議し、同意を得た試合について、原因チームと理由を明らかにしU-12リーグ運営委員会で承認を得た試合については、原因チームに対し0-5のスコアで処理すること。としています。</p> <p>地域大会を優先した欠場の場合は、「予期せぬ事情」としての取り扱いは有りません。</p>	<p>レギュレーション「グループ順位決定」</p>

グループ日程	グループリーグの日程は各グループ実行委員会でそれぞれ協議して決定します。 日程決定に際して注意すべき点は次の通りですので確認の上協議を行ってください。	各グループリーグは、山梨県4種委員会が主催する公式戦です。 (地域大会 招待大会などを優先して日程を調整してはいけません。) ただし、病気(インフルエンザ等)や学校行事、地域行事、会場都合等については、各グループ実行委員会に申し出ていただき、考慮して日程を調整してください。 ※上記事情で考慮すべきとグループで了解した場合は、当該試合を調整することができます。	グループリーグ実行委員会マニュアル グループ日程の組み方 ①公式戦
リーグ目的	「試合中はノーコーチング」というルールを取り入れたらどうか、 個の育成・課題の抽出を図ることを目的としているリーグであり選手育成と指導者に成長にもつながるのではありませんか。	確かに、過度なコーチングは選手の判断を引き出さないうばかりでなく、選手の主体性の成長をも奪ってしまいますが、選手を励まし、もう少しがんばるための後押しが選手に成長を促す場合もあります。 ルールで縛るのではなく、各チームの指導者が率先してコーチングのあり方を考え、実践してはいかがでしょうか。	
資格・選手証	・選手証の提示、照会についてはどうするのか?	現在ではエントリー票を用いて選手の確認を行っていることから下記アンサーについては変更があります。 ①当日の選手証確認は、会場入りしたときにおこなうようにします。 この時、登録選手である自覚を促すために(選手証を選手自身が手にする機会としても必要)―― ●整列時に選手がメンバー表を持参してチェックを受けるように工夫してはいかがでしょうか。 ②1試合目、2試合目のメンバー表は、(従来どおり)試合開始30分前までにメンバー表を確認します。	
	これまで、ユニホームというのはシャツ・パンツ・ストッキングの3点を指していましたが、 シャツだけ2着でパンツ・ストッキングについては1着でよいということになるのですか?	リーグ実施のガイドライン 「試合の実施」 4. 競技者の用具(基本的な規定はこれまでと変わらない) これまで通り異なる2色のユニホーム(シャツ・パンツ・ストッキング)を用意する。 また、③にあるようにピブス着用も場合によっては許容していることから、各実行委員会で確認し、全てが異ならなくても主審の判断で許容してはいかがでしょうか。	
試合のルール	都合のつかなかった2チームだけで試合を行なう場合に第3者が審判に入るのか?	リーグの運営は、グループリーグ実行委員会において行うものであり、実行委員会の責任において試合を成立させるものです。 したがって、当事者のみで成立する試合は存在しないと考えます。	
試合のルール	マーカー等でラインとしてよいのか?	人工芝等のピッチを利用する場合などラインを引くことが不都合な場合、マーカー等で位置を明確にすることで可能であると考えます。 その場合、アークを描くことも省略できることにします。 当然、審判の判断に委ねられるとともに、選手への指導、指導者や保護者の理解と協力が不可欠であることは言うまでもありません。	
試合のルール	ピッチのサイズに幅があるが、推奨値に統一する必要はないのか。	U-12年代は、身体的な成長が顕著で一年の中でも変化が大きい時期であります。また、グループ全体で試合会場を確保、分担して自主的なリーグ運営を行ううえで、小学校などを活用することも不可欠です。そうした様々な状況も考慮し、グループ内でピッチサイズを検討し、納得の下にリーグが運営できるよう幅を持たせています。 推奨サイズは、あくまでも運営委員会としての推奨サイズであり、全少大会県予選等においてはこのサイズを採用するものです。	1競技のフィールド ①大きさ
試合のルール	・交代方法は、交代ゾーンでの自由な交代となるのか。	基本はインプレー、アウトオブプレーに関わらず、交代ゾーンでの自由な後退が可能です。ただし、規定されるものがありますので「ガイドライン」を確認してください。	3競技者の数 ③交代の手続き
試合のルール	交代要員について、メンバー表に記入されていれば何人でも交代できるのか。	交替人数を制限はしませんが、メンバー表に記載されていることが前提です。現時点でのメンバー表記上限は25人を予定しています。	4競技者の数 ②交代できる要員

試合のルール	・試合時間は実際にやってみて変えていけばよいのではないか。	2011年度は、20分ハーフ（インターバル5分）として実施します。 インターバル時間については、選手がベンチに戻っている時間（休憩時間）を5分間確保、計測するように主審が心がけます。	
審判	・1人審判に現実的に対応できるのだろうか？（3人制に慣れてしまったことにより運動量の少ない主審も多いが） → 長野県のように2人制を採用しても良いのでは	1人審判制により、審判と選手のそれぞれを成長させるものであって、審判のみならず、選手、指導者、保護者、それぞれにリスペクトし、協力して試合運営を円滑にする努力によりリーグが成立するものであると考えます。 初めての取り組みの開始である2011年度から、1人審判制にチャレンジしていくこととしています。	
審判	帯同する審判は1人でよいか。	1人審判性と補助審判なので、原則1人でよいと思われます。ただし、各グループでの運営割り当て等によるものですから、各グループで協議してください。	
エントリー	・2つ目のエントリーチームは、6年生が含まれさえすればよいのか。	U-12リーグとしてのエントリーは、4種登録チームに2チーム目のエントリーを認めています。これは、6年生が全て試合に出場することができるようにするための配慮です。 したがって、6年生が含まれるチームでなければなりません、その人数についての規制はありません。	
エントリー	・エントリー料は	今後の理事会で検討して示します。	
エントリー	複数エントリーに関連して、チーム指導者の最低登録人数は？	4種登録における指導者の資格等はこれまで通りです。 エントリーの際には、それぞれのチームごとにチーム責任者（チーム役員）と審判員が必要です。 「ガイドライン」を確認してください。	15帯同する指導者、チーム役員16指導者の資格
エントリー	複数エントリー時の指導者は、両チームで重複してもよいのか。審判員や代表者を兼務することは可能か。	参加に際しては、それぞれが別のチームとして扱われ、その所属するグループリーグで責任を果たすことが前提です。 したがって、それぞれのチーム責任者は異なる有資格者をもってチーム参加を行ってください。登録されたチーム責任者が、そのチームの管理者となります。 ただし、コーチの登録はこれまで通り、重複して行っていただき、ベンチ入り指導者、帯同審判員としてチームの運営に関わることは可能です。 試合当日の指導者を確保するために、エントリーチーム間での指導者の活用（兼務）をさせるためには、それぞれのチームに重複した登録を行ってください。 ベンチ入り指導者は、これまで通り3名とします。将来的にはベンチ入り指導者に有資格者の要件を条件とする考えがありますので、積極的に指導者資格を取得するようにしてください。	
エントリー	前期のみ、後期からの出場は可能か？	可能です。 ただし、後期のみ参加する場合は、Sリーグへの参加になります。	
運営	・実行委員会を組織するが、グループ運営の具体的方法はマニュアル等で示されるか。	グループリーグ実行委員会運営マニュアルを作成します。	
運営	・実行委員会での情報共有や結果の公開などをどうするのか。（広報委員会との関係）	広報委員会で検討し、実行委員会マニュアル等に示します。	
運営	・実行委員会には役員はどう関わるのか。（役員、事業運営部）	今後の理事会で検討して示します。	
運営	・リーグ戦各グループの運営費はどうなるのだろうか？	U-12リーグでは、前期、後期合わせ405試合を想定しており、4種委員会の手当てでできる経費に限りがあることから、各グループで各チーム負担による運営費の確保が必要になることも考えられます。各グループへの運営委託料については理事会で検討されます。 グループリーグの運営の仕方によって経費に差異が出ることが予想されますので「グループ実行委員会運営マニュアル」にグループ負担の考え方についての具体的な参考例を示します。	
チーム	チーム責任者（監督者）の役割は何か。	チーム責任者（監督者）とは、当該チームを当該試合日に引率する責任者です。選手の体調、行動、並びにチーム関係者の行動等について管理、監督する人を必ず帯同させてください。 試合への関わりは、「試合に際し、チームを総括し、試合の運営に協力するとともに、グループリーグ実行委員会の指示によるリーグ運営に協力する。」ものとされています。	15帯同する指導者、チーム役員